国立国語研究所学術情報リポジトリ

「外来語」言い換え提案：分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫, 第3回

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2019-11-06 キーワード: 作成者: 国立国語研究所「外来語」委員会 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002293

第３回　「外来語」言い換え提案

―分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫―

平成１６年１０月

国立国語研究所「外来語」委員会

目　　次

第３回「外来語」言い換え提案……1

第３回最終発表で取り上げた語……4

凡例……6

語別の提案……8

国立国語研究所「外来語」委員会設立趣意書……４０

委員名簿……４３

第３回 「外来語」言い換え提案

―分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫―

○提案の背景と目的

近年，一般になじみの薄い分かりにくい外来語が，国の省庁の行政白書や新聞など，公共性の高いものに数多く使われているという指摘があります。また，外来語の使用状況を見ると，読み手の分かりやすさに対する配慮よりも，書き手の使いやすさを優先しているように見えることがしばしばあります。

「外来語」言い換え提案の目的は，このような公共性の高い場面における外来語使用の現状をふまえ，分かりにくい外来語を分かりやすくするための方策を，言葉遣いの工夫として提示することにあります。提案の本体では，対象とした個々の外来語に対して，どのような言い換え語を当てるのが最も適切であるのか，また，外来語に説明を施すとしたらどのような表現を選べばよいのか，その目安・よりどころを具体的に示しています。

外来語には日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかし，むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。官公庁，報道機関など公共性の高い組織ではそうした事態を招かないよう，それぞれの指針に基づいて，言い換えや注釈など受け手の理解を助ける工夫をすることが大切です。本提案は，そのための基本的な考え方と基礎資料を提供するものです。

○分かりにくい外来語とは

本提案では，外来語の分かりにくさを知るための目安として，その外来語の意味が国民にどのくらい理解されているのか，すなわち語ごとの「理解度」に着目しています。国民各層に対する調査に基づいて，その語の理解度の数値が一定の水準に達していなければ，それは未だ十分に定着していない外来語であり，分かりにくいものと考えました。

理解度は，大きく４段階に分けて把握することとし，語ごとに星印の数で，次のように表示しています。

★☆☆☆　その語を理解する人が国民の４人に１人に満たない段階
★★☆☆　その語を理解する人が国民の２人に１人に満たない段階
★★★☆　その語を理解する人が国民の４人に３人に満たない段階
★★★★　その語を理解する人が国民の４人に３人を超える段階

本提案では，★☆☆☆から★★★☆までの３段階に属する語を「分かりにくい外来語」として扱っています。★★★★の語は，すでに十分に定着している外来語であると考えました。

○分かりやすくするために

一口に分かりにくい外来語と言っても，個々の外来語にはそれぞれに固有の背景事情があり，一律に機械的な扱いができるわけではありません。実際に分かりやすい言葉遣いを工夫するためには，それぞれの特性をとらえた上で，言い換え語を採用するのがよいのか，あるいは外来語に何らかの説明を付与するのがよいのか，一つ一つきめ細かな対応を考える必要があります。

これまでに行った第１回，第２回の提案を含めて，本提案を利用しながら，分かりやすい言葉遣いを工夫する際に，いつも念頭においていただきたい留意事項を列挙すれば，次のとおりです。

（１）語による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は，語により★☆☆☆から★★★☆まで大きな幅があります。対応の仕方の目安として，★☆☆☆の語は，最も分かりにくい外来語であり，公的な場面でそのまま用いることは避けるべき語と考えます。★★☆☆の語も，現状では，外来語のままで用いることは避けたい語ですが，今後，普及定着に向かう可能性のある語も含まれています。★★★☆の語は，定着に向かって進行しつつあり，外来語を用いることにさほど問題のない場合も多いと思われますが，幅広い層の人に理解してもらう必要のある場合には，まだ何らかの手当てが必要な語と言えます。

（２）世代による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は，「国民全体」についての情報の外に，「６０歳以上」の情報を特に取り上げて示しています。国民全体として見れば，理解度が★★★☆であり定着が進んでいるように見える語であっても，この年齢層を見ると，それより低い段階の★★☆☆に止まっている語が少なからず認められるからです。これらの外来語については，伝える相手の中に高年齢層が含まれる場合には，言い換えや説明付与など何らかの手当てが必要となります。

（３）言い換え語は外来語の原語に対するものではないことに注意を

本提案における「言い換え語」や「意味説明」は，あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり，外来語の元の言語である原語の意味・用法をそのまま反映しているわけではないことに注意が必要です。外来語の意味・用法が，原語での意味・用法から目立ってずれている場合は，その旨を「手引き」欄で言及するようにしています。

（４）場面や文脈により言い換え語を使い分ける工夫を

同じ外来語でも，用いられる場面や文脈によって意味合いを変えることがあります。外来語にも意味の広がりがありますので，一つの言い換え語で全ての場合に対応できるわけではありません。場面や文脈によって言い換え語を適切に使い分ける工夫が必

要となります。

例えば「スタンス」の場合，「立場」のほかに「その他の言い換え語例」欄に示した「姿勢」，あるいは「手引き」欄に示した「立ち位置」「立ち方」などの語例を参考にして，その場面や文脈に最もふさわしい表現を選択する必要があります。

（５）専門的な概念を伝える場合は説明を付け加える配慮を

特定の分野で専門的に用いられる外来語は，その分野内での正確で迅速な伝え合いのためには効果的ですが，そのまま一般の人に対して使っても，理解されるとは限りません。適切な言い換えができればよいのですが，言い換えることでかえって概念があいまいになり，混乱が生じることも考えられます。

このような場合は，外来語を使いつつも，それに正確な説明を付け加えることがむしろ有効です。

（６）現代社会にとって大切な概念の定着に役立つ工夫を

特定の分野で使われ始めた外来語のなかには，その語の表す概念が未だ一般にはなじみの薄いものであっても，現代社会にとっての大切な概念として，普及定着が望まれているものもあります。そのような外来語が，例えば語が長くて覚えにくいなど，普及にとって不利な条件をもつ場合には，あえて言い換え語を新しく造語するなど，定着に役立つ工夫をする必要もあります。

例えば，本提案では第２回に，「ノーマライゼーション」に対して，「等しく生きる社会の実現」という意味で，「等生化」という言い換え語を新しく造語しています。

本提案（第３回）で取り上げた語

アカウンタビリティー accountability ……8
イニシアチブ initiative ……9
カウンターパート counter part ……10
ガバナンス governance ……11
コンファレンス conference ……12
コンプライアンス compliance ……13
サプライサイド supply-side ……14
スキル skill ……15
スタンス stance ……16
ステレオタイプ stereotype ……17
セーフガード safeguard ……18
セットバック setback ……19
ソリューション solution ……20
ツール tool ……21
デジタルデバイド digital divide ……22
デフォルト default ……23
ドクトリン doctrine ……24
ハザードマップ hazard map ……25
パブリックインボルブメント public involvement ……26
パブリックコメント public comment ……27
プライオリティー priority ……28
ブレークスルー breakthrough ……29
プレゼンス presence ……30
フロンティア frontier ……31
ポートフォリオ portfolio ……32
ボトルネック bottleneck ……33
マンパワー manpower ……34
ミッション mission ……35
モビリティー mobility ……36
ユニバーサルデザイン universal design ……37
リテラシー literacy ……38
ロードプライシング road pricing ……39

* 外国語から直接取り入れられた語は，原語での綴りと言語名を示す。
* 言語名の記載がないものは，原語は英語である。
* 本提案での言い換え語や意味説明は，あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり，原語の意味用法をそのまま反映しているわけではない。

凡　例

1．対象とした外来語を五十音順に掲げる。

2．語ごとに提示する情報の構成は次の通りである。

- **外来語**
- **理解度**
- **言い換え語**
- **用例**
- **意味説明**

すべての語について提示

- **手引き**
- **その他の言い換え語例**
- **複合語例**

必要に応じて提示

3．**外来語**　には見出し語形を掲げる。その表記は，「外来語の表記」（平成３年内閣告示・内閣訓令）による。

4．**理解度**　は外来語の右側に，国民各層に対する調査の結果に基づいて，語の理解度の段階を示す。その語の「意味が分かる」と答えた人の比率を，星印を用いて次のように表示する。国民各層を全体と 60 歳以上とに分けて掲げる。

★☆☆☆	25%未満
★★☆☆	25％以上 50％未満
★★★☆	50％以上 75％未満
★★★★	75％以上

5．**言い換え語**は，外来語を言い換えるのにもっとも適当だと考えられる語を掲げる。意味区分のあるものは，（1）（2）…と区分し，区分ごとに言い換え語を掲げる。言い換え語は，あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり，原語の意味用法をそのまま反映しているわけではない。

6．**用例**は，外来語の使用例の典型的なものについて，その外来語の上に**言い換え語**を示す形で掲げる。使用例は，白書・新聞の実例から採る。**用例**の外来語表記は，見出し表記に合わせて修正した場合がある。

7．**意味説明**は，意味や概念を簡潔明瞭に提示し，括弧書き・注記・文中展開などの方法で，外来語に対する説明として用いることのできる形で掲げる。

8．**手引き**は，**言い換え語**欄に言い換え語を並記した場合の使い分けの目安や**その他の言い換え語例**を使うべき場合などについて解説する。また，その外来語や，言い換えにあたっての，留意点を掲げる。

9．**その他の言い換え語例**は，**言い換え語**に示した語以外で，文脈や場面により，最適となる言い換え語がある場合に，掲げる。それらの使い分けなどが問題になる場合は，**手引き**に記す。

10．**複合語例**は，その外来語を含んだ複合語で，よく用いられるもののうち，**言い換え語**に示した語を機械的に当てはめることができないものにつき，具体的な言い換え語とともに掲げる。

○アカウンタビリティー

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　説明責任

用例

説　明　責　任
法外な役員報酬やアカウンタビリティーの欠如に対する批判が高まっていた

意味説明

行政や企業などが，社会に対して，事業に関する情報をいつでも開示し説明できるようにしている責任

手引き

○ 行政や経営の分野を中心に，1990 年代半ばから，よく使われるようになった語。2000 年代になって，「説明責任」と言い換えることが一般的になりつつある。

○ これからの社会で重要な概念になっていくと考えられ，「説明責任」の言い換え語だけでは概念が十分に伝わらないと思われる場合は，「説明責任（情報をいつでも開示し説明できるようにしている責任）」などと説明を付けることなどの配慮も効果的である。

○イニシアチブ　　全体 ★★☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　（1）主導　（2）発議

用例

（1）市町村の主導イニシアチブのもと，地域住民の参画を得て作成した地域全体の振興計画

（2）来年，日欧双方においてこのテーマに関するシンポジウムを開催するという日本の発議イニシアチブ

意味説明

（1）自ら率先して先頭に立ち，他を導くこと

（2）率先して提唱する政治の方針

手引き

○ （1）は，文脈によって「率先」と言い換える方が適切な場合がある。「イニシアチブを取る（握る）」という形などでは，「率先する」「主導権を取る（握る）」と言い換えるのが適切である。

○ （2）は，「○○イニシアチブ」の形で，発議した人や，発議が行われた会議の開催地，あるいは，発議の目的や内容を「○○」に示して用いられる場合も多い。「沖縄イニシアチブ」「ＡＳＥＡＮ統合イニシアチブ」など。こうしたものを引用する場合は，「○○構想」「○○行動計画」などの語で説明を加えると，分かりやすい。

○ （2）は，住民投票にかける提案を，住民自身が発議する制度を指して使われる場合があり，その場合は「住民発議」という言い換えが適切である。

その他の言い換え語例

（1）率先　主導権　　（2）構想　行動計画　住民発議

○カウンターパート

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　対応相手

用例

国務副長官は外相の<u>カウンターパート</u>（対応相手）ではないとの論理があるのかもしれない。

意味説明

交渉や共同作業を進める際の，互いに対等な地位にある相手

手引き

○ 同格であることを明示したい場合は「同格対応相手」「同格者」と言い換えることもできる。また，文脈によっては，単に「相手方」と言い換えることができる場合もある。

○ 国際協力や国際的な共同作業などを行う際，現地での受け入れを担当する人や機関を指して「カウンターパート」と言われることもあるが，その場合は「受け入れ担当者」「受け入れ担当機関」などと言い換えるのが分かりやすい。

その他の言い換え語例

同格対応相手　同格者　相手方　受け入れ担当者　受け入れ担当機関

○ガバナンス

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　統治

用例

もちろんＧ８にとって一番重要なことは「援助」ではなくアフリカの良き統治ガバナンスを前提とした「自立と自発的向上力」であることには間違いがない。

企業統治コーポレートガバナンスの再構築は，わが国の現状において，実際的にもますます重要な課題となっている。

意味説明

組織が自らをうまく統治すること

手引き

○ 1990年代半ばから，よく使われるようになった語。社会，企業，国家，国際社会などについて，組織が自らをうまく統治することについて言われる。

○ 最近では企業不祥事が相次いだこともあり，企業が自らの組織をうまく統治していく仕組みを指す,「コーポレートガバナンス」の形で用いられることが特に多く，単に「ガバナンス」という形でこれを指す場合も多い。

○ 文脈によっては「統治能力」と言い換えることが適切になる場合がある。

その他の言い換え語例

企業統治　統治能力

複合語例

コーポレートガバナンス　＝　企業統治
グッドガバナンス　＝　良い統治　良き統治　良好統治

○コンファレンス

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　会議

用例

二十一世紀の金融ビジネスの戦略について議論する会議コンファレンスを開催します。

意味説明

特定の問題について検討する会議

手引き

○ 「会議」では意味が広すぎると感じられる場合は，内容に即して「検討会議」「研究会議」などと言い換えることもできる。

○ 「○○コンファレンス」の形で，具体的な会議の名称に用いられる場合も多いが，公的な機関がこの語を用いる場合は，「会議」「検討会議」などの語を用いて，説明を付与する配慮が必要である。

○ 「カンファレンス」という語形で用いられることもあるが，この語形は，アメリカのバスケットボール・フットボール・野球などに関する，競技会や組織・制度の名称に用いられる場合が多い。そうしたスポーツになじみのない人が相手に想定される場合には，「競技会」などの語で説明を付与するのが望ましい。

○ 「カンファランス」という語形で用いられることもあるが，この語形は，医療に関する症例検討会を指す場合によく用いられる。その場合は「症例検討会」と，言い換えたり説明を付けたりすることができる。

その他の言い換え語例

検討会議　研究会議　症例検討会　競技会

○コンプライアンス

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　法令遵守

用例

企業の<u>コンプライアンス</u>（法令遵守）にかかる取組みを補完する意味からも

意味説明

企業などが，法令や規則をよく守ろうとすること

手引き

○ 1990年代後半から一般化が始まった語で，社会に混乱を与えないようにする企業倫理，社会からの信頼を高めるための企業戦略などとの関わりで話題になることが多い。

○ 企業内の部署や役職の名称に用いられることも多いが，一般に対しては，言い換え語を用いて説明を付与することが必要な場合も多い。

○ 医師による服薬指示に関して，それをよく守ることを指して言われる場合があるが，その場合は「服薬遵守」と言い換えることができる。

○ 「法のコンプライアンス」など，文脈から何を遵守するのかが明らかな場合は，単に「遵守」と言い換えることができる。

○ 新聞などでは「遵守」の語は「順守」と書かれることもあるが，意味は同じである。

その他の言い換え語例

服薬遵守　遵守

○サプライサイド

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　供給側

用例

新規産業創出，既存産業の競争促進や不振企業の経営再建等サプライサイド（供給側）からの改革をさらに推進していくことが求められている。

意味説明

経済における，物資や商品を供給する側

手引き

○ 「サプライサイドの経済学」「サプライサイドの政策」などと言われる場合は，経済を活性化させる役割を供給側に見るもので，「供給重視」と言い換えると分かりやすい。

○ 文脈によっては，「業界」と言い換えるのが分かりやすい場合もある。

○ 反意語「デマンドサイド」は，「需要側」「消費者」などと言い換えられる。

その他の言い換え語例

供給重視　業界

複合語例

サプライサイドエコノミクス　＝　供給重視の経済学

○スキル

全体	60歳以上
★★☆☆	★☆☆☆

言い換え語　技能

用例

職業に関する実践的な<u>スキル</u>（技能）や職業適性などの情報への要望が強い。

意味説明

訓練によって身につけることができる，技術上の能力

手引き

○ 文脈によっては，「技術」「能力」などの言い換え語が適切になる場合もある。

○ 訓練によって身につける技能であることを強調したい場合は，「習得技能」と言い換えることもできる。

その他の言い換え語例

技術　能力　習得技能

複合語例

スキルアップ　＝　技能向上

○スタンス　　全体 ★★☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　立場

用例

各党には，大別して論憲，護憲，改憲の三つの立場スタンスがある。

意味説明

物事に対するときの立場や，取り組む姿勢

手引き

○ 物事に対する考え方を指す場合は「立場」，物事に取り組む態度を表す場合は「姿勢」と，言い換え語を使い分けることも効果的である。

○ スポーツで，競技者の立つ位置や立ち方を指す言い方がある。言い換えの必要はないが，スポーツに縁の遠い人が相手に含まれる場合など，意味を伝えたい場合は，「立ち位置」「立ち方」などと説明を付与するとよい。

その他の言い換え語例

姿勢

○ステレオタイプ

全体	60歳以上
★★☆☆	★☆☆☆

言い換え語　紋切り型

用例

紋 切 り 型
ステレオタイプの日本紹介や批判ではなく，等身大で日本を理解しようという努力だ。

意味説明

物事の見方や表現方法が型にはまっていて新鮮味がないこと。また，その様子。

手引き

○ 「紋切り型」では分かりにくいと感じられる場合は，「型どおり」と言い換えることもできる。

○ 文脈によっては，「類型」「固定観念」「画一的」で言い換えるのが分かりやすい場合もある。

○ 「ステレオタイプな」の形で用いられる場合は，「紋切り型の」「型どおりな」「画一的な」などと言い換えることができる。「ステレオタイプで」は「型どおりに」「固定観念で」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

型どおり　類型　固定観念　画一的

複合語例

ステレオタイプ的　＝　類型的　画一的
ステレオタイプ化　＝　類型化　画一化

○セーフガード　　全体 ★★☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　　**緊急輸入制限**

用例

輸入の急増により緊急輸入制限セーフガードを暫定発動したねぎやトマト，ピーマン等の監視品目を主対象としつつも，

意味説明

特定の産品の輸入が急増した場合に，暫定的に輸入を制限する措置

手引き

○ 世界貿易機関（ＷＴＯ）で認められている措置で，輸入の急増で国内産業が打撃を受けるのを防ぐことを目的として，関税の引き上げや輸入量の制限などによって実施される。

○ やや長いが，「緊急輸入制限措置」と言い換えるのが正確である。

その他の言い換え語例

緊急輸入制限措置

複合語例

セーフガード措置　＝　緊急輸入制限措置

○セットバック

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　壁面後退

用例

ここには公園を配置したうえ，ビルの壁面後退セットバックによる植樹も義務付けた。

意味説明

建物を道路などから後退させて，建てること。また，建物の上の階を下の階より後退させて，建てること。

手引き

○ 道路幅を広くしたり，日照や通風をよくするためにとられる，建築方法を指す語。

○ 建物全体を道路から後退させることと，建物の上の階を下の階より後退させて建てることとを区別したい場合，前者は「敷地後退」，後者は「後退建築」と，言い換え語を使い分けることもできる。また，いずれの場合も，文脈によっては単に「後退」と言い換える方が分かりやすい場合も多い。

○ 「セットバックする」という形で用いられる場合は，「壁面後退させる」「敷地後退させる」「後退させる」などと言い換えることができる。

その他の言い換え語例

敷地後退　後退建築　後退

○ソリューション

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　問題解決

用例

問題解決
技術チーム責任者としてソリューションの実現に対する総責任をもち

意味説明

顧客の抱える問題に解決策を提案し，問題解決を支援すること

手引き

○ 文脈によっては，「解決支援」あるいは「解決策」と言い換えたり説明を付けたりする方が分かりやすい場合がある。

○ 「ソリューション事業」「ソリューションビジネス」「ソリューションサービス」などの複合語として使われる場合が多いが，その場合は，「問題解決型事業」「解決支援事業」「解決支援サービス」などと，言い換えたり説明を付与したりすることができる。

○ 会社名や事業名，部署名として使われることが多いが，分かりにくい向きも多いので，場合によって説明を付与することが必要である。

その他の言い換え語例

解決支援　解決策

複合語例

ソリューションビジネス　＝　問題解決型事業
ソリューションサービス　＝　解決支援サービス

○ツール　　全体 ★★☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　　道具

用例

インターネットはますます生活から切り離せない道具ツールとなることが見込まれている。

意味説明

目的の実現のための便利な道具

手引き

○ ある目的を実現するために有効な，具体的な手だての意味で用いられることもあり，その場合は，「手段」と言い換えたり説明を付けたりするのが分かりやすい。

○ コンピューターのプログラムやソフトウェアを指して使われることもあるが，分かりにくいと感じる人も多いので，場合によって「道具」などの言い換え語で説明を付ける配慮も必要である。

○ 「○○ツール」という形で，○○をするための道具や手段という意味の，複合語として用いられることが多いが，「○○の道具」「○○手段」などと言い換えたり，説明を付与したりすることができる。

その他の言い換え語例

手段

複合語例

支援ツール　＝　支援の道具　支援手段
コミュニケーションツール　＝　コミュニケーションの手段　伝達手段

○デジタルデバイド

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　情報格差

用例

新旧加盟国間の情報格差（デジタルデバイド）を解消し，すべての人々がITの恩恵を享受できるよう努力することが重要です。

意味説明

情報技術を利用できる層とできない層との，入手できる情報の量や質の格差

手引き

○ 情報の量や質の格差から生じる，経済的・社会的な格差を指す場合もある。

○ 情報化によって人々に新しい機会を与えるという意味で「デジタルオポチュニティー」という言葉が使われることもあるが，これは「情報機会」などと言い換えられる。

○デフォルト

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　（1）債務不履行　（2）初期設定

用例

（1）経済危機で国債は実質的に債務不履行デフォルトに陥り，債券相場は暴落した。

（2）初期設定デフォルトでは黒色に表示されます。

意味説明

（1）債務が履行できない状態

（2）コンピューターなどで，利用者が特に設定を行わない場合にとられる，あらかじめ用意されている設定

手引き

○ 英語の default には，しなければならないことをしないという意味があり，まず（1）の経済用語として，日本語に取り入れられた。その後，（2）のコンピューター用語として，日本語に取り入れられた。

○ 白書・新聞などでは，（1）の意味で用いられることが多い。（2）に由来する，「初めから」を意味する用法が，口語に広がりつつある。

○ （1）は，「○○債のデフォルト」などと用いられる場合など，単に「不履行」と言うだけで分かる場合もある。

その他の言い換え語例

（1）不履行

複合語例

（2）デフォルト設定　＝　初期設定

○ドクトリン

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　原則

用例

二十一世紀の東アジア協力の原則ドクトリンとして，アジア外交を積極的に推進する。

意味説明

公式に宣言される，政策の基本原則

手引き

○ 「原則」では意味が広すぎて分かりにくいと感じられる場合は，「基本原則」「政策原則」などと言い換えたり，説明を付けたりすることもできる。

○ 「ブッシュドクトリン」「軍事ドクトリン」など，宣言者や内容を示した複合語として用いられる場合が多い。そうした宣言を引用する場合も，言い換え語やその他の言い換え語例を使って，説明を付与するなどの工夫が必要である。

その他の言い換え語例

基本原則　政策原則

○ハザードマップ　　全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　　災害予測地図　　防災地図

用例

五月に公表された磐梯山の災害予測地図ハザードマップは，明治の大噴火の規模を想定し，地元の猪苗代，北塩原，磐梯の三町村で土石流や降灰などの被害を予想している。

各都道府県に対して，災害時に地域住民が円滑かつ迅速な避難行動が行えるよう，防災地図ハザードマップの作成等を要請しています。

意味説明

防災を目的に，災害に遭う地域を予測し表示した地図

手引き

○ 災害に遭う地域を予測した地図を指すのが本来であり，「災害予測地図」と言い換えるのが分かりやすい。

○ 住民向けに作られたものは，災害の危険のある地域を示すだけでなく，避難場所や避難経路などの防災情報を含んだ地図を指すことも多い。その場合は「防災地図」と言い換えるのが分かりやすい。

その他の言い換え語例

災害危険予測地図

複合語例

火山ハザードマップ　＝　火山災害の予測地図　火山の防災地図
洪水ハザードマップ　＝　洪水災害の予測地図　洪水の防災地図

○パブリックインボルブメント

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　住民参画

用例

この計画策定手続きとして，パブリックインボルブメント（住民参画）の仕組みの整備や地方公共団体からの意見聴取の制度化などを行う。

意味説明

行政による計画の策定を，住民や市民の参加を積極的に募って行うこと

手引き

○ 「パブリックコメント」が，住民や市民に意見を求める制度であるのに対して，「パブリックインボルブメント」は，住民や市民に計画の策定への参画を求めるものである。

○ 1990年代後半から道路建設や河川改修などの計画策定に際して，この方式が試みられるようになった。今後普及が図られる概念だと思われるが，そのためにも，分かりやすい言い換えや説明付与が望まれる。

○ 現在の日本で行われているものは，道路や河川の周辺住民に参画を求める場合が多く，「住民参画」と言い換えるのが最も分かりやすい。市民一般や関連団体など，周辺住民よりも広い範囲に参画を求める場合は，「市民参画」と言い換えることも考えられる。

○ 「ＰＩ」という略語が使われる場合もあるが，分かりにくい。

その他の言い換え語例

市民参画

○パブリックコメント

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　意見公募

用例

行政は積極的に意見交換会等を開催するほか，パブリックコメント（意見公募）の実施等消費者や生産者等との日常的な対話の場の提供に努めることが必要である。

意味説明

行政による施策を原案段階で公表し，市民一般から意見を募り，その上で意志決定を行う手続

手引き

○ 英語 public comment は，この手続によって一般から提出された意見を指すが，日本では，この手続自体を「パブリックコメント手続」と呼んで取り入れ，「パブリックコメント」の形で，手続と意見との両方を指すようになった。

○ 国ではこの手続を 1999 年から制度化して実施しているが，国の行政手続としての「パブリックコメント」について，国では「意見提出手続」を使うこともある。

○ 行政手続として制度化されていること以外に，一般に広く意見を募集することを指して「パブリックコメント」と言われることもある。その場合にも適用できる言い換え語としては，「意見公募」が分かりやすい。

○ 意見を指す場合は，「公募意見」「一般から提出された意見」「市民の意見」などと言い換えることができる。

○ 「パブコメ」「ＰＣ」などという略語が用いられることもあるが，分かりにくい。

その他の言い換え語例

意見提出手続　公募意見　一般から提出された意見　市民の意見

複合語例

パブリックコメント手続　＝　意見提出手続

○プライオリティー

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　優先順位

用例

公共投資の配分の<u>プライオリティー</u>（優先順位）の見直しが避けられない。

意味説明

他の物事よりも重要性が高いものとして，優先する度合い

手引き

○ 「プライオリティーがある」など，「優先権」と言い換える方が適切になる場合がある。

○ 「真っ先にすべきこと」などと，分かりやすく言い換えたり説明を付けたりすることが望まれる場合もある。

その他の言い換え語例

優先権　真っ先にすべきこと

○ブレークスルー

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　突破

用例

要員削減という手法に限界がある以上，技術的なブレークスルー（突破）が「製鉄世界一」の座を死守するための重要な武器といえる。

意味説明

技術などの行き詰まりを突破すること

手引き

○ 困難な局面を突破することを強調したい場合など，「難関突破」「打開」などの言い換え語が適切になる場合がある。

○ 突破することよりも，飛躍的に前進することを表す場合は，「飛躍的前進」「躍進」と言い換えることができる。

○ 「ブレークスルーする」の形で用いられる場合は，「突破する」「打開する」「躍進する」と言い換えることができる。

○ 「新産業創出へのブレークスルーとなる技術開発」などの形で用いられる場合は，「突破口」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

難関突破　打開　飛躍的前進　躍進　突破口

○プレゼンス

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　存在感

用例

我が国の貿易における中国の<u>プレゼンス</u>（存在感）が急速に高まっている。

意味説明

政治・経済や軍事において，強い組織が与える存在感

手引き

○ 文脈によっては単に「存在」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

○ 軍事的な存在感を高める行動を指して使われる場合もあるが，その場合は，「展開」「軍事展開」などの語で言い換えるのも分かりやすい。

その他の言い換え語例

存在　展開　軍事展開

複合語例

軍事プレゼンス　＝　軍事展開

○フロンティア

全体	60歳以上
★★☆☆	★★☆☆

言い換え語　新分野

用例

新分野
その手法を用いたフロンティアの開拓が様々な分野から要請されている。

意味説明

豊かな可能性を秘めた，未開拓の分野

手引き

○ 開拓されつつある最先端の領域を指す場合は，「最前線」「最先端」などと言い換えたり説明を付けたりすることができる。

その他の言い換え語例

最前線　最先端

複合語例

フロンティアスピリット　＝　開拓者精神
フロンティアスクール　＝　最先端の学校

○ポートフォリオ　　全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　　（1）資産構成　　（2）作品集

用例

（1）保有銘柄の運用成績，現金残高などを示した資産構成ポートフォリオが画面上で確認でき

（2）写真家二十四人の作品を集め，作品集ポートフォリオを販売して

意味説明

（1）投資を配分してできた資産の，組み合わせ。また，その投資の配分。

（2）図画や文章などの作品を集めたもの

手引き

○ 本来は「紙ばさみ」を意味する語で，紙の資産（株券など）や作品（図画や文章など）を束ねたものを指すところから，（1）（2）の二つの意味に分かれて，使われている。

○ （1）は，配分した資産の組み合わせを指す場合は「資産構成」，配分することを指す場合は「投資配分」と，言い換え語を使い分けることもできる。

その他の言い換え語例

（1）投資配分

○ボトルネック

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　支障

用例

交通の分野では，経済・社会発展のボトルネック（支障）を生じさせないための輸送力の拡大が最優先の課題であった。

意味説明

進行の妨げになるものや場所

手引き

○ 「ボトル」は瓶，「ネック」は首を指し，本来の意味は，瓶の首の細くなったところ。流れが滞る場所という本来の意味を生かせば，「隘路（あいろ）」という言い換え語が適切である。

○ ただし，「隘路（あいろ）」の「隘」は，常用漢字外の難解な漢字であり，読み仮名を付けたとしても意味が伝わりにくい可能性がある。分かりやすさを重視すれば，「支障」という言い換え語を使う方が適切な場合が多い。

○ 文脈によっては「障害」「妨げ」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

○ 「ネック」という略した形で使われることも多いが，分かりにくい。

その他の言い換え語例

隘路（あいろ）　障害　妨げ

複合語例

ボトルネック踏切　＝　交通の支障になる踏切
ボトルネック橋梁　＝　治水の支障になる橋梁

○マンパワー

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　人的資源

用例

財政問題と同時に<u>マンパワー</u>（人的資源）の問題が出てくる。

意味説明

特定の仕事にあてがうことのできる，人間の働き

手引き

○ 文脈によっては，「労働力」「人材」などと言い換えることのできる場合も多い。

その他の言い換え語例

労働力　人材

○ミッション

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　使節団　使命

用例

両社は今年２月，北九州市が仁川広域市に派遣した使節団ミッションの商談会で出会い，開発を進めてきた。

人権が無視され，虐げられた子どもたちの現実を日本をはじめ世界中に伝えていくのが，親善大使の使命ミッションだと考えています。

意味説明

ある目的のため，主に海外に派遣される団体。また，その団体が果たすべき任務。

手引き

○ 文脈によっては，単に「使節」あるいは「派遣団」，「任務」と言い換えることが適切になる場合もある。

○ 「○○ミッション」など，使節団の名称を引用する場合も，説明を付けるなどの配慮をすることが望ましい。

○ キリスト教の伝道のために創設された学校を指す「ミッションスクール」を約して「ミッション」と言われることがある。また，自動車などの変速機を指す「トランスミッション」を約して「ミッション」が用いられることがある。いずれも比較的定着してきているが，前者は「伝道」，後者は「変速機」などと，言い換えたり説明を付けたりすることもできる。

その他の言い換え語例

使節　派遣団　任務

○モビリティー

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆

言い換え語　移動性

用例

高齢者が安心して暮らせる居住環境を確保するとともに，福祉や介護を支える移動性モビリティーを確保することが一層重要である。

意味説明

容易に移動できるように，手段や環境が整備されていること

手引き

○ 意味をより明確に示した「移動利便性」「移動しやすさ」などの言い換え語を用いることもできる。物資や，人や金などの流動を容易にする手段や環境を指す場合は，「流動性」を用いることもできる。

○ 高齢者や障害者が，苦労しないで街を歩けるように，スクーター等の機器を貸し出すシステムを指して，「ショップモビリティー」「タウンモビリティー」などの語が使われることがある。これらは「お出かけスクーター」など，分かりやすい表現を工夫するのが望ましい。

その他の言い換え語例

移動利便性　移動しやすさ　流動性

複合語例

ショップモビリティー　＝　お出かけスクーター
タウンモビリティー　＝　お出かけスクーター

○ユニバーサルデザイン　　全体 ★★☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　万人向け設計

用例

道路空間における歩道や自転車道等の構造基準に万人向け設計ユニバーサルデザインの概念を導入するための

意味説明

障害者や高齢者なども含め，誰にでも使いやすい形に，設計すること

手引き

○ 「ユニバーサル」は「普遍的」，「デザイン」は「設計」の意味。「ユニバーサルデザイン」は，福祉の分野で使われ始め，2000年頃から一般化を始めた。等生化（等しく生きる社会の実現）を意味する「ノーマライゼーション」の考え方の普及とあわせて，重要な考え方になると思われる。

○ 障壁を取り除き，誰にとっても使いやすい状態にしていくことを表す考え方が「バリアフリー」である。「ユニバーサルデザイン」は，初めから誰にとっても使いやすい設計にすることを強調する考え方を指す。

○ 「バリアフリー」が定着を深めていきつつあるのに対して，「ユニバーサルデザイン」は十分に定着しておらず，言い換えや説明付与の必要性は高い。

○ 「誰にでも使いやすい設計」などと，より分かりやすい言葉で言い換えたり説明を付与したりすることも，効果的である。

○ 「UD」という略語が用いられることがあるが，分かりにくい。

その他の言い換え語例

誰にでも使いやすい設計

○リテラシー

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　読み書き能力　活用能力

用例

日本はもともと読み書き能力リテラシーの高い国。問題なのは，活字は読めるが，読書をしないことだ。

答申は，インターネットなどITが進み活用範囲が広がることで，国民の学習機会や意欲が高まることが期待できるとし，情報活用能力情報リテラシーを身に着けることが重要と提言。

意味説明

情報を的確に読み解き，またそれを活用するために必要な能力

手引き

○ 元来は読み書き能力のことであるが，現代では情報を読み解き活用する能力の意味で使われることの方が多い。

○活用することよりも読み解くことに重点のある場合は，「読み解き能力」と言い換えることもできる。

○何を活用するかが分かりにくい場合は，「情報活用能力」などのように，活用するものを示す語を前に添えて言い換えるのも，効果的である。

その他の言い換え語例

読み解き能力　情報活用能力

複合語例

情報リテラシー　＝　情報活用能力
メディアリテラシー　＝　メディア活用能力　情報活用能力
グローバルリテラシー　＝　国際対話能力
コンピューターリテラシー　＝　コンピューター活用能力

○ロードプライシング

全体 ★☆☆☆　60歳以上 ★☆☆☆

言い換え語　道路課金

用例

道路整備や低公害自動車の普及と合わせて道路課金ロードプライシングに取り組む方針を打ち出した。

意味説明

環境保護や混雑緩和などを目的に，特定道路の通行や駐車に課金し，交通量を抑制する仕組み

手引き

○ 制度を指す場合は「道路課金制度」と言い換えることができる。

○ 交通量を抑制したい道路に課金する場合だけでなく，別の道路に車を誘導するために，料金を安くすることを指す場合もある。

その他の言い換え語例

道路課金制度

複合語例

環境ロードプライシング　＝　環境道路課金

国立国語研究所「外来語」委員会 設立趣意書

この委員会は，分かりにくい「外来語」について言葉遣いを工夫し提案することを目的としています。

○外来語・外国語の問題点

近年，片仮名やローマ字で書かれた目新しい外来語・外国語が，公的な役割を担う官庁の白書や広報紙，また，日々の生活と切り離すことのできない新聞・雑誌・テレビなどで数多く使われていると指摘されています。例えば，高齢者の介護や福祉に関する広報紙の記事は，読み手であるお年寄りに配慮した表現を用いることが，本来何よりも大切にされなければならないはずです。多くの人を対象とする新聞・放送等においても，一般になじみの薄い専門用語を不用意に使わないよう十分に注意する必要があります。ところが，外来語・外国語の使用状況を見ると，読み手の分かりやすさに対する配慮よりも，書き手の使いやすさを優先しているように見受けられることがしばしばあります。

○伝え合いとしての言葉を

そもそも，どんな言葉を使うのが適切かということは，話し手・書き手の意図，想定される聞き手・読み手，話題，使われる環境など，その時々のさまざまな条件によって変わります。同じ内容の話をするにしても，大人に話すときと子供に話すときとでは，使う単語，声の調子，話す速さ，文の長さなどが変わってきて当然です。また，同じ大人でも，相手がその話題に通じているかどうかによって，言葉選びや言葉遣いに自ずと違いが出てきます。相手や場面に応じて，適切な言葉遣いが変わることにいつも留意することが大切です。このことは，私達の言葉について国語審議会がかねて提言してきた「平明で，的確で，美しく，豊かであること」を実現する具体的な努力の一つと考えます。

○分かりやすい言葉を求めて

外来語には，これまで日本になかった事物や思考を表現する言葉として，日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかしその一方で，むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。とりわけ官庁・報道機関など公共性の強い組織が，なじみの薄い外来語を不特定多数の人に向けて使用するとき，そこにさまざまな支障が生じることになります。これらの組織ではそうした事態を招かないよう，それぞれの指針に基づいて言い換えや注釈などの工夫を施した上で外来語を使用することが大切です。それと同時に，その指針や工夫を公共の財産として共有する方向に進んでいくことが望ましいとも考えます。

○委員会の目指すところ

以上のような認識に立って，この委員会では，まず国の省庁の行政白書を，その後は新聞や雑誌など公共性の強いものを対象として，一般に分かりにくい外来語が使われていないか，使われていればそれに換えるべき分かりやすい言葉や表現としてどんなものがあるかを検討します。そして，それに基づいて個々の外来語に対する考え方やその言い換え例を含めた，緩やかな目安・よりどころを具体的に提案することを目指しています。この委員会の提案がきっかけとなり，より多くの人々がそれぞれの立場で，私達の大切な日本語について考えていく機会が生まれることになれば幸いです。

委員名簿

委員長　甲斐睦朗（国立国語研究所長）

副委員長　水谷　修（名古屋外国語大学長）

副委員長　中西　進（京都市立芸術大学長）

相澤正夫（国立国語研究所研究開発部門長）

阿辻哲次（京都大学大学院人間環境学研究科教授）

倉島節尚（大正大学文学部教授）

神津十月（作家）

古賀節子（青山学院大学名誉教授）

輿水　優（日本大学文理学部次長）

小森政道（小学館コミュニケーション編集局次長）

柴田　実（NHK 放送文化研究所用語研究班主任研究員・解説委員）

陣内正敬（関西学院大学総合政策学部教授）

関根健一（読売新聞東京本社校閲部次長）

田中牧郎（国立国語研究所研究開発部門第一領域主任研究員）

鳥飼玖美子（立教大学観光学部・異文化コミュニケーション研究科教授）

中山惠利子（阪南大学国際コミュニケーション学部教授）

長谷川眞理子（早稲田大学政治経済学部教授）

福田　亮（朝日新聞東京本社校閲部用語幹事補佐）

松岡和子（翻訳家・演劇評論家）

山崎　誠（国立国語研究所研究開発部門第一領域長）

第３回　「外来語」言い換え提案

―分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫―

平成16年10月

国立国語研究所「外来語」委員会

〒115-8620　東京都北区西が丘３－９－14
独立行政法人 国立国語研究所
電　話　03－3900－3111（代表）
ﾌｧｸｼﾐﾘ　03－5993－7617
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.kokken.go.jp/